

コリアン・マイノリティ研究会

第223回月例研究会

きむきがんひとり芝居『はらぺこ男の5度目の 選択～俺の腹は減っているがお前の腹は減 っているか～』ができるまで

室田卓雄さん・川口祥子さん(池田市立中学校元教員)

1975年春、伊丹朝鮮初級学校を卒業した少女が池田市立北豊島中学校に入学した。3年の冬休みに担任の室田卓雄が、父親のことを聞いて書くようにと宿題を出した。父の李興燮(1928年生)は1944年5月、父親と畑で働いていると「黄色い封筒」を持った役人が来て、すぐに家に帰って「徴用」に行くことになった。着いた先は佐賀県徳須恵の住友唐津炭鉱。重労働と空腹に耐えかねて1945年1月に脱走し、九州の朝鮮人飯場を転々としながら8・15を迎える。博多港には何万もの朝鮮人が押し寄せ、結局帰国はかなわなかった。

娘の後を継いで、李興燮本人が仕事の合間に辞書を片手に日本語で書き綴った「強制連行」の記録は教材となり、1987年4月、葦書房から『アボジがこえた海—在日朝鮮人一世の証言』として出版された。さらに解放後の様子を記した原稿とその他の資料を集めて、室田が編集し、紆余曲折の末に2015年3月に続編『続・アボジがこえた海～在日朝鮮人一世の戦後～』(解放出版社)として出版できたが、李興燮は2014年10月に世を去っていた。その後、竹本明子が自ら英語版を製作し、また韓国でも翻訳出版された。

しかし、本はなかなか読んでもらえない。他の方法で伝えることはできないか。

2019年に劇団石(トル)のきむきがんさんに依頼し、芝居にすることを引き受けていただいた。それから4年後の2023年5月、満を持して名古屋で初演され、これからも続いていく。

【名古屋公演】[済み]5月19日(金)18:30～ 名古屋市芸術創造センター

【京都公演】6月3日(土)18:30～ 京都市北文化会館(地下鉄烏丸線「北大路駅」1番出口よりすぐ)

【大阪公演】7月8日(土)18:30～ 池田市民文化会館小ホール(阪急宝塚線「石橋阪大前駅」西口から徒歩約7分)

前売り3000円・障がい者・学生(小学校高学年以上)前売り2500円 ※当日500円アップ

予約→大阪 harapeko.ikeda★gmail.com(室田) →京都 <https://forms.gle/RNXP9Q6jp3tWqnVE9>

企画・制作:劇団石/室田卓雄・川口祥子 主催:劇団石とゆかいな仲間たち <https://www.facebook.com/gekidantol/>

2018年の韓国大法院判決以来、日本は輸出規制の対抗措置をとるなどして日韓関係は最悪などと言われた。そして、3月に韓国大統領が来日して示した方法により関係は改善した、などと言われる。そうなのだろうか。李興燮というひとりの人物を通して「植民地支配責任」を考え続けたい。

日時:2023年6月17日(土)17:00～19:00 終了後、懇親会(実費)

場所:NPO 法人 猪飼野セツPARAM文庫(大阪市生野区新今里2-9-16 もと辻本写真館1階)

近鉄奈良線「今里駅」から5分・地下鉄「今里駅」から10分、新今里公園北側

参加費:1000円・会員800円・学生以下無料

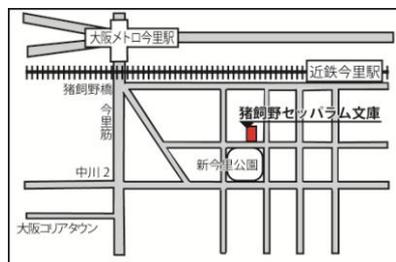
【要予約】090-9882-1663 masipon@nifty.com

主催:コリアン・マイノリティ研究会

NPO 法人猪飼野セツPARAM文庫内 <https://sepparam-bunko.jimdo.com>

みんなの居場所・まちの人権図書館、ついに生野区新今里へ！

い か い の 猪飼野セツパラム文庫



朝鮮 / 韓国 / 在日を知ろう！

이카이노 셋바람문고

古代大阪は上町台地を除き、ほとんどが海でした。その後、大阪の北と南を流れる淀川と大和川が土砂を運び、徐々に陸地になりました。船に乗って朝鮮半島からの渡来人も多くやってきました。

「猪飼野」は戦前戦後、東成区・生野区にまたがった地域の地名で、植民地期から在日朝鮮人の集住地域として知られました。しかし、1973年に町名改正で、地名としてはなくなりました。

また、1980年代から90年代にかけてこの付近には「猪飼野朝鮮図書資料室」「学林図書室」「青丘文化ホール」「カラ文化情報センター」など、朝鮮韓国在日に関する専門図書館等がありました。しかし、残念なことに、様々な事情でなくなってしまいました（現在も開館中の大阪市立生野図書館「韓国朝鮮図書コーナー」は充実しています。また、2023年4月には大阪コリアタウンに待望の大阪コリアタウン歴史資料館がオープンしました）。そこで、2015年5月に、「猪飼野」に隣接し、古代からの陸地=上町台地の東の端にある天王寺区細工谷で、誰もが利用できる、新しいみんなの居場所・まちの人権図書館「猪飼野セツパラム文庫」（셋바람とは朝鮮語で「東風」を意味し、「新しい風」の意味も）を開館しました。“これからの、これまでの図書資料を100年残すために！” 2021年秋にNPO法人格を取得し、2023年3月には念願の生野区新今里への移転をしました。夏のリニューアルオープンを目指して頑張っています。これからもよろしくお願ひします。

●蔵書案内 どなたでもご利用いただけます。【入館・閲覧無料】

所蔵資料(日本語・朝鮮語・漢語)書籍・雑誌・チラシ・パンフレット・テープ・CD・DVD・ビデオ(未整理のもの多数)・民族団体・民族学校・運動団体関連資料・行政外国人施策関連資料・民族まつり/マダン関連資料・モノ

●調査相談(レファレンス)サービス：朝鮮韓国在日についての本や資料の相談。

●関連論文・卒業論文・修士論文・博士論文の収集。●チラシ・パンフレット収集・目録作成・データベース化。

●「猪飼野アクセスマップ」(『季刊 Sai』vol.3,1992年掲載)の改訂作業。

●各種講座・催しの開催：コリアン・マイノリティ研究会・「映像で見る朝鮮/韓国/在日」上映会・猪飼野ゼミナール・ワークショップ・猪飼野フィールドトリップ・マルマダン(朝鮮語=韓国語講座・手話教室ほか)・講師派遣。●書籍委託販売・古本販売・グッズ販売。

●関連情報「朝鮮/韓国/在日・これからの催し」毎週月・木2回配信。

【会員登録】年会費：正会員 6000円・賛助会員 3000円・図書貸し出し会員 1000円 ★小中高校・大学生は無料！大歓迎！（菓子・飲み物付き）

特典(貸出：会員限定。何冊でも可能な冊数・期間1ヶ月/関連事業参加費の割引/「これからの催し」配信)

【郵便振替】NPO法人猪飼野セツパラム文庫 00960-5-235693【ゆうちょ銀行】〇九九(ゼキョウキョウ)店(099)当座0235693

NPO法人猪飼野セツパラム文庫 이카이노 셋바람문고

■開館：土日 11:00～18:00 来館前にご連絡ください。これ以外のご利用も対応可 ■入館無料

■〒544-0001 大阪市生野区新今里 2-9-16 もと辻本写真館 1階

近鉄奈良線「今里駅」から5分・地下鉄「今里駅」から10分、新今里公園北側

■HP <https://sepparam-bunko.jimdofree.com/> ☎090-9882-1663 masipon@nifty.com